

# 小テスト 微分積分学 I (1年19組)

担当 石川 剛郎 (いしかわ・ごうお)

No. 6 (平成18年(西暦2006年)6月5日)

---

年 組 学生番号

氏名

---

教科書, ノート, 演習プリント, 回答プリント類は見ないで, 次の問に答えよ.

問1: 空欄・空白(2ヶ所)を埋めよ.

$f(x)$  が  $x = a$  で微分可能とすると,  $\lim_{x \rightarrow a} \frac{f(x) - f(a)}{x - a} = f'(a)$  から,  
 $\lim_{x \rightarrow a} f(x) = f(a)$  が示されるので,  $f(x)$  は  $x = a$  で \_\_\_\_\_ である.  
つまり,  $f(x)$  が  $x = a$  で \_\_\_\_\_ ならば連続である.

問2: 空欄・空白(2ヶ所)を埋めよ.

$f(x)$  が  $x > a$  の範囲で微分可能で,  $x \geq a$  の範囲で連続とする. 平均値の定理により,  $\frac{f(x) - f(a)}{x - a} = \underline{\hspace{2cm}}$  となる  $c$  ( $a < c < x$ ) が存在する. したがって,  $x > a$  の範囲で  $f'(x) > 0$  ならば, とくに  $f'(c) > 0$  なので,  $f(x) > \underline{\hspace{2cm}}$  が成り立つことがわかる.

問3: 空欄・空白(5ヶ所)を埋めよ.

不等式  $e^{2x} > 1 + 2x + 2x^2$  ( $x > 0$ ) の証明について.

$f(x) = e^{2x} - (1 + 2x + 2x^2)$  とおく. いま,  $f(x)$  が単調増加であることを示すために,  $f'(x) > 0$  ( $x > 0$ ) を示したい.  $f'(x) = 2e^{2x} - (\hspace{2cm})$  なので,  $f'(0) = \underline{\hspace{2cm}}$  である.  $f'(x)$  をもう一度微分すると  $f''(x) = 4e^{2x} - 4 > 0$  ( $x > 0$ ) となり,  $f''(0) = \underline{\hspace{2cm}}$  となる. また,  $f'(x)$  は  $x \geq 0$  の範囲で \_\_\_\_\_ なので,  $f'(x) > 0$  ( $x > 0$ ) が示される. さらに,  $f(x)$  も  $x \geq 0$  の範囲で連続なので, \_\_\_\_\_ の範囲で  $f(x) > f(0) = 0$  が証明される.